

地域包括ケアシステムをご存知ですか？

テレビや新聞などでみなさまも最近耳にされることが多くなってきた「地域包括ケアシステム」をご存知ですか？

我が国の高齢化は諸外国の中でも類を見ないスピードで進んでいます。特に人口の少ない地方での高齢化率の上昇は顕著です。私たち千葉県の高齢化率は21.5%で全国中では41位と低く、全国の平均は23.0%と比較すれば少し低いと受け取られます。しかし、この低い数字は千葉県の人口が多いために割り出されているにすぎず、千葉市を見れば22.3%、若葉区は26.8%と全国平均を上回っています。なんと若葉区は千葉市内で一番高齢化が進んでいる地域なのです。

また、10年後の2025年には「団塊の世代」といわれる約800万人もの方々が後期高齢者（75歳以上）となります。今後の国民の医療や介護の需要の増加は避けることはできません。これからは「ほぼ在宅、時々病院」として、医療・介護を「在宅＝地域」へ移行させる方針を国は提言しています。

そこで「高齢者の尊厳の保持と自立生活支援」という目的を掲げ、可能な限り「住み慣れた地域で」、「人生の最後まで」、「自分らしい生活、暮らし」を送り続けることをサポートする体制づくりが始まりました。これが「地域包括ケアシステム」です。地域での住まい・医療・介護・介護予防・生活支援を一体的なサービスとして提供します。また、今後も増加を続ける認知症高齢者の生活の支援も「地域包括ケアシステム」の課題の一つです。

当院は「急性期医療」と、「地域に根ざした医療」を特色としております。その特色を活かし、発症の早い段階からご相談を開始しております。いただくご相談内容は様々で、ご自宅での生活の不安解消のご相談や施設への入所のお手伝い、他病院への転院など多岐にわたります。もちろん入院患者様だけでなく外来におかかりの患者様からもご相談をお伺いしております。看護師、医療ソーシャルワーカー、退院調整看護師などが窓口となります。

当院は、最大の強みである急性期医療を通じ「地域包括ケアシステム」の一翼を担い、患者様一人一人の支援をこれからもさせていただきます。疑問やご相談はぜひお声がけください。

